

# 全国の山からゴミをなくすため 2020 年、47 回目の

## 全国一斉の清掃登山・クリーンハイクを成功させよう

### 日本勤労者山岳連盟・自然保護委員会

季節に咲く様々な草花を愛でるのは登山者の大いなる喜びでもあります。日本勤労者山岳連盟は、ゴミのない豊かな山岳自然の景観を守る持続可能な活動を続けてきました。

1974 年から全国の地方連盟・会・クラブに、清掃登山・クリーンハイクを呼びかけ、毎年 6 月（東北、北海道は 7 月）の第 1 日曜日を全国一斉の清掃登山・クリーンハイクの日として取り組んでいます。今年で 47 回目を迎えます。昨年は、49 地方連盟のうち荒天など中止を余儀なくされた 5 連盟を除く全国 44 地方連盟が参加し、393 の会クラブが 321 の登山コースで取り組み 5,543 名が参加し、4,106 k g のゴミを回収しています。登山コースのゴミは少なくなっており、殆んどないという報告もあり、登山者のモラルが向上していることの表れです。しかし、登山口の近くや駐車場にはゴミが散乱しているところもあります。また、産業廃棄物と思われるゴミも確認され、それぞれの地方自治体に連絡して回収するように呼びかけています。クリーンハイクは、登山者が誰でもどこでも取り組むことのできる自然保護運動の第一歩です。清掃登山・クリーンハイクの行動は、単にゴミを拾うというだけでなく、山を汚さず傷つけないという登山者のモラルを高める呼びかけでもあります。広範な登山者に山の自然の大切さをアピールする行動として、参加を呼びかけかけるものです。全国様々な活動が報告されています。年 1 回と区切らず気がついたときに実行する、地方連盟間の親睦を兼ねて開催する、プラスチックゴミ回収に携わる、山小屋のゴミ跡を掘り起こす等自然保護がいかに大事であることを伝える象徴的行事が行われています。全国一斉の清掃登山・クリーンハイクに向けて準備し、実りあるものにしましょう。

記

1. ゴミは山に捨てないようにし、持ち帰りましょう。
2. 登山者・ハイカーだけでなく、一般旅行者、外国の登山者にも声をかけ、ゴミの持ち帰りを呼びかけましょう。
3. トイレの問題も深刻です。携帯トイレを必ず携帯し、利用することで自然への負荷を減少させましょう。
4. すべての登山者・ハイカーが、山と緑の番人、山岳自然を守る番人としての自覚を持ち、山歩きを楽しみましょう。
5. 山岳自然破壊にも関心を持ち情報を報告してください。

